

受大総第 2061 号
令和4年12月21日

大山町議会議長 米 本 隆 記 様

大山町長 竹 口 大 紀
(公 印 省 略)

大山町議会からの政策提言について(回答)

令和4年12月2日付け発大議第494号をもって提出のあった標題の件について、別添のとおり回答します。

大山町議会からの政策提言について
回答書

令和4年12月21日

①地域自主組織育成支援事業

自主組織における財源の確保は、継続的な自主活動担保の手段として組織において検討をいただきたいと思いますと考えますが、その実行にあたっては、コンプライアンスの順守について、町からも情報提供を行う考えです。

あわせて、町補助金の交付先団体であることから、各組織の収支状況等については、町補助金の関わる部分を含め、全体を把握するための資料提供について、補助金実績報告時に求めていく考えです。

②シルバー交付金

ご提案いただきました輝くシルバー交付金事業につきましては、今後、集落代表者の事務処理能力によらず交付金が受け取れるよう、総務課が所管する集落コミュニティ活動補助金との一本化交付も視野に検討を行っていきたいと思います。

また生活習慣病予防、閉じこもり予防については、事業の費用対効果を高めるため、在宅介護実態アンケート調査の結果なども踏まえ、当課所管の地域介護予防活動支援事業との統合整理も視野に検討を進めていきたいと思います。

③脳ドック検診

脳血管疾患は発症に至るまでには長期間かかり、発症率が高まる年齢は50歳代、60歳代になります。また脳ドック未受診者が、こうした50歳代、60歳代でドック受診することは有意義なことであることから助成額の再考も含め診療所医師の知見やエビデンスを踏まえたうえで改正していきたいと考えています。

なお、高血圧や動脈硬化症等の有症者の毎年度ドック助成につきましては、当該疾患により毎年度希望されるのであれば、それは医療行為で行っていただくべきものと考えます。

④夕陽の丘神田運営事業

- ・冬季期間を除き、指定管理業者及び鳥取県サッカー協会と毎月意見交換を行い、その都度、可能な限り、町内業者への誘導を依頼してきており一定の成果が出ています。引き続き依頼し、更なる徹底を求めていきます。施設の収益化に関しては、現在提案を行い、協議中の案件である天然芝グラウンドを2面化を含めた中長期計画策定を通して、収益の改善に向けて検討を進めて参ります。
- ・現在のキャンプ場は、他グラウンド施設等の管理と一体となっており、極めてランニングコストがかかっておらず、施設の重要な副収入として機能しています。流行のグランピング施設等を整備し、高収益化を図る場合は民間企業と

の連携や企業誘致等を踏まえた検討を進めます。

- ・近年、コロナ禍もあり、指定管理業者の自主事業の実施予定であった J-dream サッカーフェスティバルやドローン講習会等実施できませんでしたが、全国的に活動制限の範囲が縮小してきており、R5 年度以降は自主事業イベントの増加が見込まれます。
- ・誘導看板については、必要な個所を検討いたします。
現在本施設は指定管理業者管理 HP、指定管理業者 twitter 大山観光局管理 HP、サッカー協会 HP 等に施設の掲載をしています。指定管理業者にも積極的な情報発信を依頼していきます。
- ・現在提案中の中長期計画案に、既存施設の改修も含めて検討しております。
利用者に配慮した施設への改修をコストと比較考量しながら、中長期計画の進捗に合わせて都度、協議して参ります。
- ・本施設は、現在大山観光戦略の中で、海と山を繋ぐ中継拠点として位置付けております。一方、社会体育施設部分と観光施設部分の線引きを改めて検討する必要もあります。観光課所管他事業の進捗と併せて必要な整備を検討し、中長期計画の策定を通して協議して参ります。

⑤道路維持管理事業

道路の維持においては全町的に十分な対応ができていないと認識しており、今後は以下のように取組むこととします。

- ・側溝清掃等の維持作業と除草後の集草の作業内容統一について検討をおこないます。特に堆積が著しい箇所においては速やかに撤去するよう努めます。
- ・廃棄指定箇所における集積等の維持管理作業を行う必要があり、今後の検討課題とします。
- ・新年度以降 2 回刈り路線の見直しを行います。
- ・3 名を通年での会計年度任用職員として募集を予定しています。
- ・鳥取県とは毎年意見交換会を実施し課題を共有しています。又、都度必要に応じて対応を要請しております。